

## 安全データシート

作成日 2021年 11月 8日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 85/86/87DP マスター B4

供給者情報  
供給者の会社名称 コニカミノルタ株式会社  
住所 〒100-7015 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号  
担当部門 サステナビリティ統括部  
(TEL: 042-660-9409, FAX: 042-660-9417)

緊急連絡電話番号 公益財団法人 日本中毒情報センター  
(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)  
中毒110番 一般市民専用電話  
(大阪) 072-727-2499 (情報料無料) 365日 24時間対応  
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料) 365日 9時~21時対応

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 すべて「分類対象外」または「分類できない」

GHSラベル要素  
絵表示: なし  
注意喚起語: なし  
危険有害性情報: なし  
注意書き: なし

### 3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区別: 成型品

成分及び含有率

成分	含有率 (重量%)	CAS番号	化審法・安衛法 官報公示整理番号
多孔性薄葉紙	80-85	対象外	対象外
ポリエステルフィルム	13-17	非公開	非公開 (既存)
樹脂	0-3	非公開	非公開 (既存)

本製品およびその成分は化管法、安衛法、毒劇物取締法の情報提供対象物質ではない。

### 4. 応急措置

吸入した場合: 該当せず。

皮膚に付着した場合: 皮膚を石鹸と水で洗う。

眼に入った場合: 直ぐに除去した後、清浄な水で眼球を痛めないよう注意深く洗い流し、異常のある場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 直ぐに吐き出させ、異常があれば医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤: 炭酸ガス(二酸化炭素)、粉末消火剤、泡消火剤

使用できない消火剤: 特になし。

特有の消火方法: 一般的な消火方法を用いてよい。初期の火災は炭酸ガス、粉末消火剤を使用する。大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気を遮断する方法が有効である。

特定の危険有害性: 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれる可能性があるため、消火作業の際には、煙の吸収を避ける。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 特になし。  
環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。  
除去方法: 紙片状になった場合は、掃き集めて回収する。  
二次災害の防止: 可燃物のため火気や高温熱源に接触しないようにする。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策: 印刷機の取扱説明書をよく読み、理解してから取り扱う。  
安全取扱い注意事項: フィルム面の表面は平滑なので、上に乗ると転倒する恐れがある。切れ端などが歩行域に落ちていないよう注意する。

### 保管

- 安全な保管条件: 直射日光、極度の高温・高湿度になる場所を避けて保管する。

## 8. 曝露防止および保護措置

- 管理濃度: 該当せず。  
許容濃度: 該当せず。  
設備対策: 特に必要としない。  
保護具: 特に必要としない。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 白色固体 (フィルムと紙の接着物)  
臭い: ほぼ無臭  
pH: 該当せず。  
融点/凝固点: 200℃以上 (フィルム部分)  
沸点: データなし  
引火点: データなし  
発火点: データなし  
燃焼または爆発範囲: データなし  
蒸気圧: データなし  
比重: データなし  
溶解性: 水に対し不溶  
オクタール/水分分配係数: データなし  
自然発火温度: データなし  
分解温度: データなし

## 10. 安定性および反応性

- 安定性: 常温常圧の通常取り扱い条件において安定。可燃性あり。  
危険有害反応可能性: 特記すべきものは無い。  
避けるべき条件: 直射日光、極度の高温・高湿度  
混融危険物質: データなし  
危険有害な分解生成物: 燃焼条件によって一酸化炭素が発生する。

## 11. 有害性情報

- 急性経口毒性: データなし  
皮膚腐食性/刺激性: データなし  
眼に対する重篤な損傷性/刺激性: データなし

生殖細胞変異原性 :	データなし
発がん性 :	データなし
	発がん性および発がん性の疑いがあると評価される物質は使用していない。
生殖毒性 :	データなし
特定標的臓器毒性 :	データなし
吸引性呼吸器有害性 :	データなし
水生環境有害性 :	データなし

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性 :	データなし
残留性／分解性 :	データなし
生態蓄積性 :	データなし
土壤中の移動性 :	データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :	廃棄に関する法規・法令および地方自治体の規準を遵守して廃棄する。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に委託して処理する。
容器及び包装	残余廃棄物と同じ方法で処理する。

## 1 4. 輸送上の注意

国際規則 :	該当せず。国連勧告の定義上、危険物には該当しない。
国内規則 :	該当せず。
輸送の特定の安全対策 :	転倒・落下・破損が無いように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。 可燃性はあるので火気に注意。

## 1 5. 適用法令

消防法 :	危険物に該当せず。
労働安全衛生法 :	該当せず。
毒物及び劇物取締法 :	該当せず。
PRTR法 :	該当せず。

## 1 6. その他の情報

### 参考資料

「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）」改訂5版  
JIS Z7253（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート）

### 略語

安衛法：労働安全衛生法  
化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律  
PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等管理促進法および管理の改善促進に関する法律

記載内容はこの文書の作成時において入手した資料・情報・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は指定の印刷機での通常の手扱いを対象にしたものであって、特別の手扱いをする場合は用途・用法に適した安全性評価を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的とするものであって、保証するものではありません。